



# インターネット上の Jupyter Notebook

インターネット上には何千もの興味深い jupyter ノートブックがあり、そこから学ぶことができます。最良のソースの 1 つは、<https://github.com/jupyter/jupyter/wiki> です。

このようなノートブックをローカル コンピューターにダウンロードするか、クラウド ベースのノートブック ツールにインポートして、ノートブックで説明されている内容を再実行、変更、および実行できることに注意してください。

多くの場合、jupyter ノートブックはレンダリング ビューで既に共有されています。これは、あたかも自分のマシン上でローカルに実行されているかのように見ることができることを意味します。ただし、jupyter ファイルへのリンクのみを共有する人もいます (\*.ipynb 拡張子で確認できます)。この場合、そのファイルへの URL を取得して、NB-Viewer に貼り付けるだけです => <https://nbviewer.jupyter.org/>

上記のリストは、探索する資料の膨大なコレクションの非常に良い出発点となります。したがって、興味深いノートブックへのポインターを提供する方が役立つ場合があります。ラボでおもちゃのデータを使用したいいくつかのおもちゃの例を取り上げたので、これらのデータを使用し、データサイエンスの道をさらに進んだいくつかの研究を紹介しましょう。さらに、データサイエンスのさまざまなタスクについて説明したので、それぞれのサンプル ノートブックも提供します。

最初に探索的データ分析から始めるため、このノートブックを確認することを強くお勧めします: [https://nbviewer.jupyter.org/github/Tanu-N-Prabhu/Python/blob/master/Exploratory\\_data\\_Analysis.ipynb](https://nbviewer.jupyter.org/github/Tanu-N-Prabhu/Python/blob/master/Exploratory_data_Analysis.ipynb)

小規模なデータ統合/クレンジングには、python ライブラリ *pandas* がよく使用されます。このノートブックをご覧ください: <https://towardsdatascience.com/data-cleaning-with-python-using-pandas-library-c6f4a68ea8eb>

クラスタリングとは何かをすでに体験したい場合は、これをご覧ください: [https://nbviewer.jupyter.org/github/temporaer/tutorial\\_ml\\_gkbionics/blob/master/2%20-%20KMeans.ipynb](https://nbviewer.jupyter.org/github/temporaer/tutorial_ml_gkbionics/blob/master/2%20-%20KMeans.ipynb)

そして最後に、アイリスデータセットに関するより詳細なノートブックが必要な場合は、こちらをご覧ください: <https://www.kaggle.com/lalitharajesh/iris-dataset-exploratory-data-analysis>

## 著者

ロミオ・キエンツラー

## 変更ログ

日にち	バージョン	変更者	変更の説明
2020-10-21	2.0	マリカ・シングラ	GitLabに移行しました

© IBM Corporation 2020.無断複写・転載を禁じます。